

(令和2年12月1日)

11月30日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、市内で新たに130例目(県内148例目)となる感染者が確認されました。

この方は、松江市在住の50歳代の男性でございます。

11月28日から咳の症状があり、29日からは発熱、倦怠感の症状が現れ、市内の医療機関を受診されました。翌30日に島根県保健環境科学研究所でPCR検査をしたところ、陽性であることが判明いたしました。

患者は、昨日、保健所の指導の下に自宅で待機し、本日、感染症対策を講じた医療機関に入院をされる予定です。現在、症状はありません。

現在、患者の行動歴調査を実施しておりますが、発症2日前からの感染可能期間では、勤務のほか会食の機会を確認しております。接触の程度等状況把握に努めまして、濃厚接触者の特定を行っているところです。

また、発症2週間前からの行動歴調査で、複数回の県外移動歴があることも確認されております。

調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

全国的に感染拡大の傾向が続いており、政府は「勝負の3週間」として、都市部をはじめとする感染拡大地域における対策を呼びかけております。

また、これから気温と湿度の低下により、さらなる感染の拡がりが懸念されているところです。

松江市においては、断続的な感染者の発生が見られておりますが、市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「冬場の換気と加湿」にお取り組みいただきますとともに、年末に向けて機会が増える飲食の場面につきましては感染リスクが高まるということを十分ご留意いただき、感染予防を徹底するなど、引き続きのご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。感染への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者やその関係者を傷つけたりすることなく、励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。